

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

資料6-7

I 事業実施体制等					
1	医療機関名				
	医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院				
2	二次保健医療圏名				
	区西南部				
3	事業実施予定年月日				
	平成29年4月1日から平成32年3月31日まで				
4	事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください				
	二次保健医療圏内	二次保健医療圏外			
	渋谷区、世田谷区、目黒区	なし			
5	地域リハビリテーション支援センターの運営体制（予定）				
	設置場所	初台リハビリテーション病院内			
	職種・人数 (H29.4.1現在)	・医師	常勤：3名 非常勤：名	・言語聴覚士	常勤：1名 非常勤：名
		（うちリハ専門医）	常勤：3名 非常勤：名	・ソーシャルワーカー等	常勤：1名 非常勤：名
		・理学療法士	常勤：4名 非常勤：名	・事務職員	常勤：3名 非常勤：名
・作業療法士		常勤：2名 非常勤：名	・その他	常勤：名 非常勤：名	
6	予定する連携施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可				
	連携予定	連携予定施設名称・所在地・連携内容			
	有	(医療・介護施設名) (所在地) (連携内容)			
無					
7	予定する協力施設 ※協力施設が複数ある場合は、別紙による説明可				
	協力予定	協力予定施設名称・所在地・連携内容			
	有	(医療・介護施設名) (所在地) (協力内容) 別紙参照			
無	世田谷区の活動については、協力施設である在宅総合ケアセンター成城が主となり事業展開を行う予定。				

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性（東京都保健医療計画）】

＜計画期間：平成25年4月1日から平成30年3月31日まで＞

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション提供体制の強化

現場経験が不足する若手理学療法士等の技術等の底上げを図るとともに、地域のかかりつけ医へ各地域リハビリテーション支援センターが得意とする実践的なリハビリテーションに係る知識・技術情報を提供

訪問・通所リハビリテーションの利用促進

訪問又は通所リハビリテーション事業所に対して介護支援専門員との意見交換の場を提供するとともに、介護支援専門員に対してリハビリテーションの知識・技術等に関する研修を実施することにより、訪問・通所リハビリテーションの利用促進

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域リハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進

Ⅱ 事業目標（平成29年度から平成31年度まで）

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針（全体目標）

・講演会、研修会などのセンター事業を通じ、医療・保健・福祉・介護のあらゆる人々のリハビリテーションに対する知識、理解、そして他職種との連携が深まり、リハビリテーションの立場での活動が推進されることにより、区西南部地域の障害のある人々や高齢者及びその家族が、住み慣れたところでそこに住む人々とともに一生安全にいきいきとした生活が送れるようになることを目指す。

・地域リハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、地域内外の連携強化を促進する。行政区によって取組、体制が異なる面も多いため、自治体担当者が出席する連絡会において情報交換を行うことによって、地域間でのリハ資源の量・質のバラつきは正に取り組む。また、急性期から回復期へ、回復期から生活期へ、医療から介護へ、そして職種の壁を越え、患者・利用者中心のシームレスな連携が出来る環境づくりを行う。

・ホームページの更新、活用、区西南部地域のリハビリテーション提供機関マップの作成を通じ、いつでも誰でもリハビリテーション資源に対するアクセスできるよう、情報収集・整理・公開に努める。

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

II 事業実施内容等（必須の役割） ※全センター共通

スペースが足りない場合は、別紙での説明可

地域リハビリテーション力の向上

1	取組目標		
	(1)	渋谷区、目黒区、世田谷区のリハ関連施設とともに医療・介護の壁を越え 自立支援の視点を持った患者・利用者中心のチームアプローチを育み、お互いの連携を深め、前向きに自己研鑽に励めるような環境づくりに取り組む。リハビリテーション提供機関マップの作成やホームページの充実を図り、地域リハに関する情報発信に努める。	
	OT・PT・ST等対象の症例発表会など【連携施設の活用可】		
		実施予定回数	テーマ（予定）
	(2)	4回／29年度	◆年1回、区西南部地域リハビリテーション講演会を開催。「地域包括ケア」「地域リハビリテーション」の理解を深める場の提供。 ◆事例検討会の開催（2-（2）と重複） 各区ごと（計3回）に地域の専門職混合での事例検討会を開催。
		4回 (平成30・31年度)	平成29年度と同じ
	かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】		
		実施予定回数	テーマ（予定）
	(3)	1回／29年度	◆区西南部地域リハビリテーション研究大会の開催。特別講演と区西南部地域の現状と課題を共有する場を提供。 ◆今年度作成するリハビリテーション医療機関マップを医師会事務局を通じ、区西南部医療圏のかかりつけ医へ配布。リハビリテーション資源の情報提供を行う。
		1回 (平成30・31年度)	平成29年度と同じ
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無			
	有・無	(団体・施設名) 渋谷区医師会、目黒区医師会、世田谷区医師会	
これまでの取組状況			
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期3年間では、地域リハ講演会1回/年、事例検討会3回/年を毎年開催。講演会には総勢563名、事例検討会には17職種448名の参加があり、地域リハに対する知識、理解の向上や他職種理解を深める機会となった。 ・平成28年度目黒区においては、サマリーを題材とした事例検討会を実施し、病院⇄地域間の情報共有のあり方について多職種にて課題を共有、検討する場となった。 		

訪問・通所リハビリテーション分野への支援

2	取組目標		
	(1)	生活期を支えるケアマネジャーをはじめ、かかりつけ医や看護職、介護職、その他のサービス事業者（福祉用具、歯科医等）に対して、シームレスな連携が出来る関係作りに取り組む。	
	リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】		
		実施予定回数	取組予定内容
	(2)	3回／29年度	◆事例検討会の開催（1-（2）と重複） 区ごとに地域の専門職混合での事例検討会を開催。
		3回 (平成30・31年度)	平成29年度と同じ
	ケアマネジャーへの研修【連携施設の活用可】		
		実施予定回数	取組予定内容
	(3)	9回／29年度	◆研修会の開催 「移乗基礎動作」「摂食嚥下」の基本テーマに加え、アンケートから要望の高いテーマを取り上げ研修会を実施。3区で同じ内容の研修会を開催。ケアマネジャーだけでなく、実際に利用者へ介助を行う訪問介護員も研修対象者とする。
		9回 (平成30・31年度)	平成29年度と同じ
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無			
	有・無	(団体・施設名) 渋谷区福祉部高齢者相談支援課、渋谷区ケアマネジャー連絡協議会、目黒区高齢福祉課、目黒区保健所保健予防課、目黒区介護事業者連絡会、世田谷区保健福祉部政策調整課、世田谷区総合福祉センター、世田谷区ケアマネジャー連絡会	

2	ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】			
	(4)	相談受付方法	相談受付日・時間	
		日常的な相談について電話で受け付けている。	随時受け付け 月～土 9:00～17:00	
	(5)	これまでの取組状況		
		<ul style="list-style-type: none"> ・当病院を利用（入院・外来・訪問・通所）している患者に対し、利用者の担当ケアマネジャーと、個別に相談を実施。 		
平成28年度上半期（4月～9月）のケアプラン相談支援受付実績				
<ul style="list-style-type: none"> ・退院患者 393名 ・外来・訪問・通所患者のケアプラン相談支援受付数は把握できていない。 				
3	地域リハビリテーション関係者との連携強化			
	(1)	取組目標		
		区毎に、急性期病院、リハ関連施設、地域包括、行政担当者、介護保険事業所などの代表者が集い、地域リハビリテーションの推進の為に協議できる場をもつことが出来る。		
	(2)	設置を予定する地域協議会（連絡会）		
		名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）	実施予定回数
区西南部地域リハ支援センター幹事会		別紙参照	3回／29年度 9回（3年間計）	
(3)	これまでの取組状況			
	前期3年間では、協力施設の他、各区の行政担当者やケアマネジャーの代表者、歯科医師へと徐々に参加者（参加職種）に広がりを見せた。会議を通じ、他区の取り組みを知ることでの刺激となり区独自の活動を検討する動きが活発化してきている。			
4	若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入			
	(1)	取組目標		
		<ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチの体感と多職種理解 ・回復期～生活期リハビリテーションの流れを知る（主に脳血管疾患） ・患者・家族の「生活」を見る目を養う ・ケアの重要性を知る 		
	(2)	受入予定人数	研修内容（予定）	
24人／29年度 24人（平成30・31年度）		<ul style="list-style-type: none"> ①見学：病棟に所属し、ケース帯同、各種カンファレンス、ミーティング、早出遅出、生活期施設 ②講義・演習：当院取り組み概要とチームアプローチ、回復期・生活期リハビリテーション、車いすシーティング、歩行補助具・装具、福祉用具、高次脳機能障害者の理解、ケア、基本動作とADLなど ③ワークショップ：ケースディスカッションやチームアプローチをテーマにしたワークショップ 		
Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割）			スペースが足りない場合は、別紙での説明可	
1	区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可			
	支援予定	実施自治体名	支援内容	
	有 無			
	これまでの取組状況			

脳卒中医療連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
2	支援予定	支援内容		
	有 無	区西南部脳卒中地域連携ネットワーク及び、一般社団法人脳卒中地域医療連携バス協会の活動への協力体制を継続。区西南部脳卒中地域連携ネットワーク作成の脳卒中連携パスマップを活用し、急性期から生活期のシームレスな連携を図れるよう努める。		
	これまでの取組状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中地域連携バス会議への参加 ・区西南部脳卒中連携普及啓発事業「脳卒中地域連携講演会」への講師派遣 				
高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
3	支援予定	支援内容		
	有 無	<ul style="list-style-type: none"> ・区西南部高次脳機能障害者支援センターの活動への協力を通じ、区西南部地域にて働く医療・保健・介護・福祉の方たちの高次脳機能障害の一般的な理解が深まるよう支援する。 ・渋谷区においては、自立支援協議会就労支援専門部会の会議へ高次脳機能障害者に関わる事業所として参加を継続。高次脳機能障害者の就労支援に対する区の理解の底上げを図る。 		
	これまでの取組状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・区西南部高次脳機能障害者支援センター（日産玉川病院）への協力（圏域連絡協議会参加、症例検討会への症例提出、その他勉強会、交流会の参加） 				
介護予防における地域リハビリテーション促進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
4	支援予定	支援内容		
	有 無	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーション推進広域派遣アドバイザー設置事業を受託し実施中 		
	これまでの取組状況			
<p>地域包括ケアセンターと協働での住民向け研修会（体操教室、講義）の開催。地域々会議への参画。区西南部地域における専門職団体発足（支部化）に向けての協力、働きかけ</p>				
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その1）				
5	区分		実施予定	予定有とした項目については次頁も記入
	(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助	有 ・ 無	
	(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援	有 ・ 無	
	(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	有 ・ 無	
	(4)	地域の関係団体の支援	有 ・ 無	
	(5)	連絡会、事例検討会の実施	有 ・ 無	
	(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	有 ・ 無	

地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その2）					
(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助				
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
					回 (3年間)
	これまでの取組状況				
(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援				
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
					回 (3年間)
	これまでの取組状況				
(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援				
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
					回 (3年間)
	これまでの取組状況				
(4)	地域の関係団体の支援				
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
					回 (3年間)
	これまでの取組状況				
(5)	連絡会、事例検討会の実施				
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
					回 (3年間)
	これまでの取組状況				
(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業				
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数
					回 (3年間)
	これまでの取組状況				

地域リハビリテーション支援センター指定（平成29年4月）に係る調査票

医療機関名：初台リハビリテーション病院

記入年月日：平成28年12月23日

1 病院の概要	
所在地	東京都渋谷区本町三丁目53番3号 (区西南部 次医療圏)
開設年月日	平成14年 6月 1日
設置目的	東京都23区内では急速に進む高齢化に対応したリハビリテーション医療サービスが不足し、特に回復期リハビリテーション医療は不十分な状況下、回復期及び地域リハビリテーションの推進を目的に設立。 初台リハビリテーション病院では、急性期病院から発症後2ヶ月以内に患者さまを受け入れ、住み慣れた地域や自宅で輝いて生活していただくために、十分な回復期のリハビリテーション医療サービスを提供する。
診療科目	リハビリテーション科、神経内科
指定医療	
病床数	一般病床 173 床 (うちリハビリ専門病床 173 床)
訪問・通所リハビリ	■訪問リハビリ (■医療保険■介護保険) ■通所リハビリ (介護保険)
併設施設	

2 指定要件の充足状況

① 診療体制			
地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること			
平成27年度			
平成28年度 (4月から9月まで)			
医療従事者	専従医師	常勤 12 名 非常勤 9 名	常勤 13 名 非常勤 6 名
	(うちリハ専門医)	常勤 3 名 非常勤 0 名	常勤 3 名 非常勤 0 名
	理学療法士	常勤 90 名 非常勤 1 名	常勤 86 名 非常勤 1 名
	作業療法士	常勤 77 名 非常勤 0 名	常勤 73 名 非常勤 1 名
	言語聴覚士	常勤 40 名 非常勤 1 名	常勤 36 名 非常勤 1 名
	ソーシャルワーク従事者	常勤 14 名 非常勤 0 名	常勤 13 名 非常勤 0 名
医療施設	施設基準	<input checked="" type="checkbox"/> 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) <input checked="" type="checkbox"/> 運動器リハビリテーション料 (I)	
※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。			
(センター事業については、リハビリテーション医3名、看護師2名、理学療法士2名、社会福祉士1名、事務3名にて定例会議を行い、事業の企画、運営を行っている。)			

② 連携体制				
他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること				
		平成27年度	→	平成28年度 (4月から9月まで)
医療機関との連携状況	紹介患者数 (うちリハ部門)	730人 4人		462人 1人
	逆紹介患者数 (うちリハ部門)	143人 0人		69人 0人
	紹介率 (うちリハ部門)	99.4% 0.6%	→ →	99.5% 0.3%
	逆紹介率 (うちリハ部門)	19.6% 0.0%	→ →	15.0% 0.0%
	連携病院数 (うちリハ部門)	8施設 0施設	→ →	8施設 0施設
	連携診療所数 (うちリハ部門)	0施設 0施設	→ →	0施設 0施設
	福祉施設等との連携状況	連携施設数 (うちリハ部門)	2施設 0施設	→ →
<p>※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。</p> <p>(原則、東京都全域の方を中心に回復期リハビリテーション医療を行っている。特に強固に連携を図る急性期8病院とは発症後迅速な転院、転院後の医学的管理についての連携が整備されている。また退院後においても当院の生活期リハサービス(外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ)を提供している。)</p>				
③				
地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を提供できる体制にあること				
相談窓口設置の有無		取組状況		
有		<p>地域からの相談には、ソーシャルワーカー部門13名(社会福祉士)および、外来チームマネジャー、訪問チームマネジャーが随時対応。急性期病院からの入院リハビリの相談だけでなく、近隣地域のケアマネジャーからの生活期リハ(外来リハ、訪問リハ)の相談を受けている。</p> <p>回復期リハ入院対象外の患者についても、同法人内の在宅総合ケアセンターでの受け入れを検討するなど、最大限、必要な方に適切にリハビリテーションが提供されることを意識し、相談に応じている。</p> <p>また、近隣地域外(都外)の患者、家族からの相談にも、その方の近隣地域におけるリハビリテーション資源について、可能な限り情報提供を行っている。</p>		
無				
④ 研修体制				
地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、必要な研修を実施できる体制にあること				
研修実施の有無		取組状況		
有		<p>平成26年度～は区西南部地域リハビリテーション支援センター事業を受託しており、講演会や研修会を実施したほか、当院の患者会である「初台リハビリ友の会」に職員を派遣し講演会や体操を実施している。</p>		
無				